

## 日本付近の台風

日本付近の台風の強度は強まり、日本の南海上で猛烈な台風の存在頻度が増加すると予測されます※1

(『日本の気候変動2020』本編第9章より)

猛烈な台風※2に着目すると、日本の南海上で存在頻度(一定期間あたりに、その場所に存在する個数)が増加すると予測されます。

※1: 確信度は中程度(詳細は『日本の気候変動2020』本編第9章参照)

※2: 気象庁では最大風速54m/s以上の熱帯低気圧を指します。  
ただしこの研究では最大風速59m/s以上とされています。

### 猛烈な台風が 存在する頻度の変化

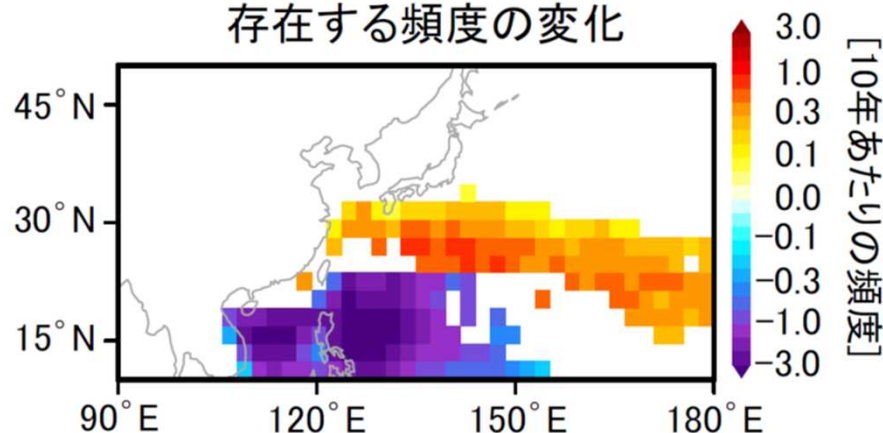


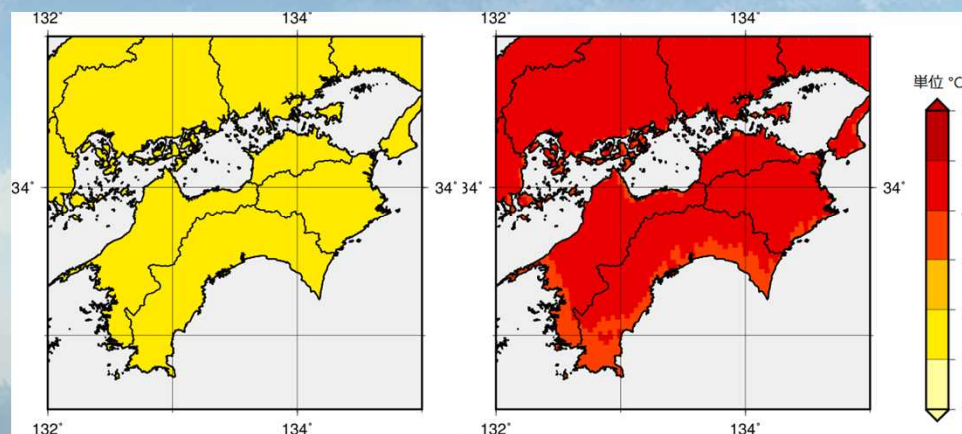
図. 猛烈な熱帯低気圧(台風)が存在する頻度の将来変化  
世界平均気温が4℃上昇した状態において、猛烈な台風の存在頻度が、暖色の領域では現在(1979~2010年)よりも増し、寒色の領域では減ることを示している。

(平成29年10月26日気象研究所・気象業務支援センター報道発表資料より)

# 愛媛県の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)  
に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

## 愛媛県の年平均気温の将来予測(21世紀末)



2℃上昇シナリオでは  
愛媛県の気温上昇は  
約1.3℃に!



4℃上昇シナリオでは  
愛媛県の気温上昇は  
約4.1℃に!

このリーフレットでは、20世紀末※と比較した21世紀末※の将来予測を、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(AR5)で用いられた以下2つの代表的濃度経路(RCP)シナリオについて示しています。

※ 20世紀末: 1980~1999年の平均、21世紀末: 2076~2095年の平均

### 2℃上昇シナリオ(RCP2.6)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。  
パリ協定の2℃目標が達成された世界。

### 4℃上昇シナリオ(RCP8.5)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。  
追加的な緩和策を取らなかった世界。

## 全国の情報はこちら

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁、令和2年12月公表)



## お問合せはこちら

松山地方気象台  
〒790-0873 愛媛県松山市  
北持田町102  
担当: 防災管理官室  
電話: 089-933-3610

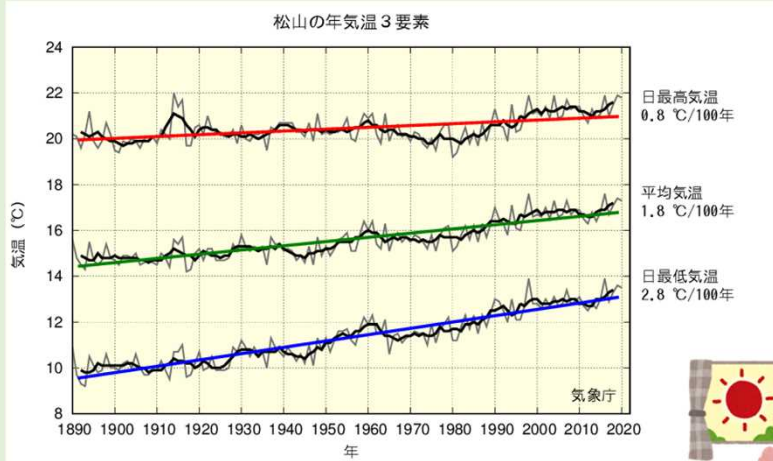
令和4年3月  
松山地方気象台

# これまでの変化

## 気温の変化

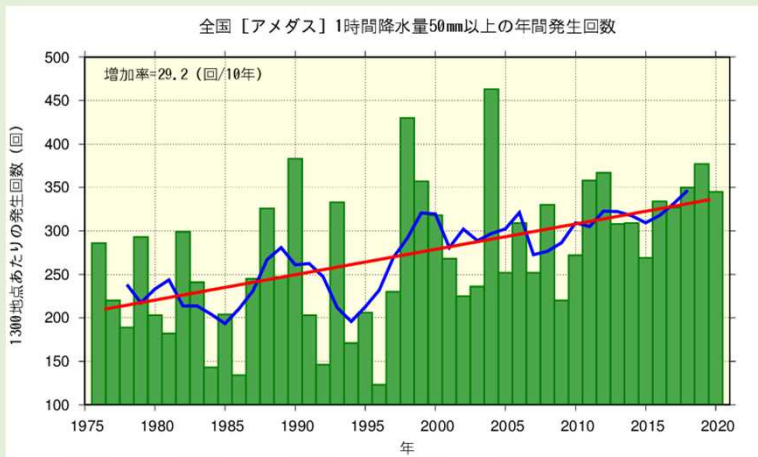
松山では年平均気温が100年あたり**約1.8℃**上昇しています。猛暑日や熱帯夜※の日数については、1990年代以降の発生数は特に多くなっています。

※猛暑日：日最高気温35℃以上  
熱帯夜：日最低気温25℃以上



## 雨の変化

全国では、短時間に降る非常に激しい雨（1時間降水量50mm以上）の回数は増加しています。なお、四国地方においてはまれな現象なので、統計的に有意な変化傾向は確認できません。



追加的な緩和策なし

4℃上昇シナリオ

将来は  
どうなる  
のかな？



2℃上昇シナリオ

パリ協定の2℃目標達成



# これからの変化

## 気温の変化

愛媛県の年平均気温は**約4.1℃**上昇します

猛暑日日数	約31日増加 ↑
真夏日日数	約61日増加 ↑
熱帯夜日数	約65日増加 ↑
冬日日数	約19日減少 ↓

猛暑日：日最高気温35℃以上  
真夏日：日最高気温30℃以上  
熱帯夜：日最低気温25℃以上  
冬日：日最低気温0℃未満

## 雨の変化

四国地方に降る非常に激しい雨※<sup>1</sup>の回数は、**約1.8倍**に増加します

※<sup>1</sup>：1時間降水量50mm以上

日降水量200mm以上の回数	約1.7倍に増加 ↑
年最大日降水量※ <sup>2</sup>	約1.2倍に増加 ↑
無降水日日数	約10日増加 ↑

※<sup>2</sup>：1年で最も多くの雨が降った日の降水量

大雨や短時間強雨は発生数が少ないため、地域単位での予測は不確実性が大きいことに注意が必要です。

「これからの変化」とは、21世紀末（2076～2095年の平均）の予測を20世紀末（1980～1999年の平均）と比較したものです。

## 気温の変化

愛媛県の年平均気温は**約1.3℃**上昇します

猛暑日日数	約4日増加 ↑
真夏日日数	約18日増加 ↑
熱帯夜日数	約20日増加 ↑
冬日日数	約9日減少 ↓

猛暑日：日最高気温35℃以上  
真夏日：日最高気温30℃以上  
熱帯夜：日最低気温25℃以上  
冬日：日最低気温0℃未満

## 雨の変化

四国地方に降る非常に激しい雨※<sup>1</sup>の回数は、**約1.4倍**に増加します

※<sup>1</sup>：1時間降水量50mm以上

日降水量200mm以上の回数	有意な変化なし
年最大日降水量※ <sup>2</sup>	約1.1倍に増加 ↑
無降水日日数	有意な変化なし

※<sup>2</sup>：1年で最も多くの雨が降った日の降水量

大雨や短時間強雨は発生数が少ないため、地域単位での予測は不確実性が大きいことに注意が必要です。